

令和元年度総合教育会議資料

資料2

幼児教育の推進について

～「幼児教育班(仮称)」の設置について～

令和元年12月19日
沖縄県教育委員会

【国】「第3期教育振興基本計画」 2018.6.15閣議決定（2018～2022年度）

第2部 今後5年間の教育政策の目標と施策群

1. 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する
<主として初等中等教育段階>

- 目標(1) 確かな学力の育成
目標(2) 豊かな心の育成
目標(3) 健やかな体の育成

目標(1)確かな学力の育成

子どもたちの基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、主体的に学習に取り組む態度を育成する。

○幼児期における教育の質の向上

・子ども・子育て支援新制度に基づき、職員の配置や処遇改善等を通じた、幼児教育・保育・子育て支援の更なる質の向上を推進するとともに、幼児教育の内容の改善・充実や質の評価手法確立に向けた調査研究を進める。また、各地方公共団体への「**幼児教育センター**」の設置や「**幼児教育アドバイザー**」の育成・配置等、公私の別や施設種を超えて幼児教育を推進する体制を構築し、幼児教育施設の教職員等への研修についても充実を図る。

沖縄県の幼児教育に関する現状

【現状①】 国や県の所管の違いによって担当部局が異なる

【現状②】 複数の園種が存在（県内1051園）

所管	国	文部科学省	内閣府				厚生労働省		
	県	教育庁	子ども生活福祉部						
園種	幼稚園		認定こども園				保育所		
	公立	私立	幼稚園型 私立	幼保連携型 公立	保育所型 私立・ 公私連携 私立		私立	公立	認可外
園数	154	23	8	35	65	23	411	62	270
合計	177		131				743		

(単位：園) 2

沖縄県の幼児教育の課題

【課題①】

国や県の所管の違いにより、
保育者に対する研修の機会や内容が均一ではない

【課題②】

幼児教育は小・中・高等学校と比較して、専任の幼児教育担当者の未配置が多く、園に対する指導助言や支援が不十分

【課題③】

市町村教育委員会と福祉部の連携体制が未構築な場合、
幼児教育施設と小学校の円滑な接続が難しい

課題解決のために「幼児教育センター」の役割を担う
「幼児教育班（仮称）」を設置する

3

沖縄県の幼児教育の課題①に対する対応策

課題①

■国や県の所管の違いにより、保育者に対する**研修の機会や内容が均一ではない**



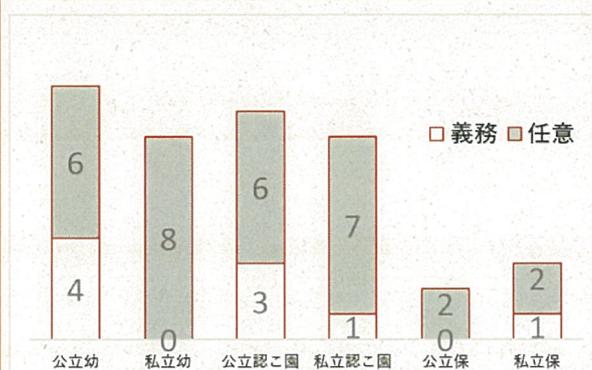
県内の幼児教育の質を揃える

研修支援

- 研修内容を一元的に把握し、効果的に実施
- 地域の課題に応じた研修の実施

【グラフ①】

県が実施する園種ごとの研修(年間)の種類



4

沖縄県の幼児教育の課題②に対する対応策

課題②

■幼児教育は小・中・高等学校と比較して、専任の幼児教育担当者の未配置が多く、**園に対する指導助言や支援が不十分**



現場のニーズに応じた指導助言や研修の改善

市町村支援

- 幼児教育アドバイザーによる園内研修への助言
- 幼児教育アドバイザーや県の指導主事による市町村への巡回支援訪問

市町村における幼児教育に係る体制(R1)

表① 幼児教育担当配置状況

配置状況	教育委員会	福祉部局
専門を 専任 で配置	5市町村	6市町村
専門外を兼任で配置	30市町村	0市町村

表② 幼小接続アドバイザー配置状況

配置状況	教育委員会	福祉部局
配置している	5市町村	3市町村

5

沖縄県の幼児教育の課題③に対する対応策

課題③

■市町村教育委員会と福祉部の連携体制が未構築な場合、**幼児教育施設と小学校の円滑な接続が難しい**



幼小接続アドバイザーの配置の推進・育成

幼小接続推進

- 市町村の幼児教育連携体制の促進
- 保幼小連携に係る研修の実施

市町村における**幼小接続**への対応

○スタートカリキュラム作成状況

小学校作成状況：**62.0%** (H30.6)

※スタートカリキュラムとは、小学校に入学した児童がスムーズに学校生活へ適応していけるように幼児期の学びをもとにして編成したカリキュラムを指し、新学習指導要領では小学校に作成が義務化されている。

○保幼小連絡協議会開催状況

※保育所・幼稚園・認定こども園・小学校の長が一堂に会して市町村の幼児教育政策に基づき、幼小接続について情報共有すること。

教育委員会と福祉部が 合同で開催	14 市町村
---------------------	---------------

6

「幼児教育班(仮称)」

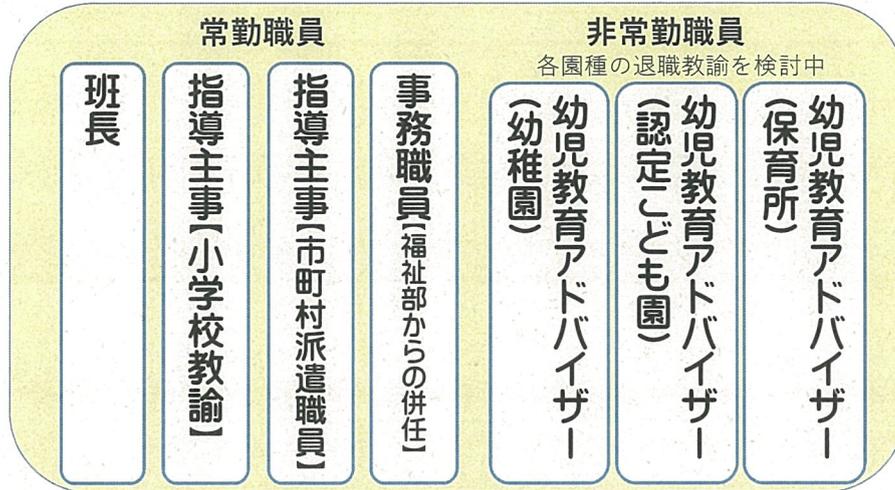
(県教育庁義務教育課内)

令和2年4月 設置予定



7

「幼児教育班（仮称）」組織体制（案）



※幼児教育アドバイザーの役割とは、市町村からの依頼に応じて、各幼稚園、保育所、認定こども園を訪問し、園の現状と課題、ニーズに合わせた園内研修の支援、小学校との連携推進、カリキュラムや指導計画に関する指導助言、市町村の好事例等の情報提供等を行う。

沖縄県における幼児教育に係る研修の推進体制（イメージ）

